

令和元年度 ウィークエンド青少年セミナー 実施報告②

実施日：令和元年 11 月 16 日（土）

宇都宮大学陽東キャンパスにて行いました。今回は、総合教育センターで 12 月 14 日（土）に開催される開放事業「学びの杜の冬休み～ふれる・つくる・考える～」の中で行われる「とちっ子 あそび隊」のブースを企画することを中心に講座を実施しました。



講話・演習「よい活動はよいチームづくりから」

宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授 若園 雄志郎 氏



まず、「社会教育とは何か」という概論について講話していただきました。若者には希望があり、経験がないからやってみる事ができるなどの特性についても触れられた上で、実際に自由な発想を展開するワークショップを行ってみました。ユニークなアイデアがたくさん出てきました。

演習「自分たちも何かやってみよう！企画・立案編」 ～とちっ子 あそび隊～

初めに、イベントや活動の企画・立案を進めていく上での大切なポイントを確認しました。次いで、午前中に学んだ手法を生かしながら、グループ毎にアイデアを出し合いました。参加者に楽しんでもらいながら、学びや気づきを得られるような活動を提供するには、どうしたらよいか。また、安全面への配慮や保護者の視点なども含めて熟慮し企画を練りました。



* 受講者の感想より *

- 人と人とのつながりづくりが、地域づくり、まちづくりといえるというのが納得できた。
- 若者にしかない能力や可能性を感じることができた。
- グループワークを行う上で、出た意見を分類したり、方向性を決めていったりすることの重要性を改めて感じた。
- 大学の授業の雰囲気があった。
- 教育は幸せになるためにあるというのが、とても面白いと思った。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで！
TEL: 028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp